

2009年7月28日

当社長浜市寺田町所有地におけるPCB含有油の確認に関するお知らせ

三菱樹脂株式会社

三菱樹脂株式会社（本社：東京都中央区日本橋本石町一丁目2番2号、社長：吉田 宏）は、滋賀県長浜市寺田町に所有する土地（参考図面①）において、敷地内の地下水の自主調査を行った結果、PCBを含有した油（以下、PCB油といいます）を確認し、本日、滋賀県湖北環境・総合事務所および長浜市役所へ報告書を提出いたしました。

<経緯>

この土地は、昭和36年頃から昭和39年頃の間、当社の廃棄物処理委託先が、工場の廃棄物を埋め立てた場所です。当社は、この土地の管理を行うため、昭和54年および昭和57年に当該土地を購入し、また、平成14年には、敷地西側および南側に4本の観測井戸を設け、これまで地下水のモニタリングを行ってまいりました。

昨年9月採水の測定で一部の井戸から、地下水環境基準を超える砒素が確認されました。この敷地も含め琵琶湖周辺では、自然的原因の可能性が高いと考えられる砒素汚染があるので、この可能性を探るため、本年2月に敷地北側に4本の観測井戸を設けました。この結果、新たに設けた井戸からも砒素を検出しましたので、自然的原因による砒素が存在すると想定できましたが、一部の井戸からPCBが検出されました。

今般、この原因究明のため、更に観測井戸6本を追加し、調査いたしました。

<調査結果概要>

今般、本年追加設置した観測井戸10本の内、2本の井戸の地下水面上に油層が確認され、この中にPCBが含有されていることが判明いたしました（参考図面②）。

また、地下水からは、砒素、ベンゼン、ふっ素、ホウ素が検出されましたが、いずれも地下水環境基準を満たしておりました。従って、現時点では地下水による敷地外への影響はないと考えております。

ただし、観測井戸の地下水モニタリング調査を継続し、敷地外への影響の有無を確認いたします。

<今後の対応>

地下水水面付近に浮いているPCB油は、現段階では敷地の一部分のみで確認されておりますが、今後、PCB油が敷地外へ拡散することを防止するための対策を早急に開始いたします。

具体的には、7月下旬から緊急対策を開始するとともに、並行して詳細な調査を実施いたします。その後、調査結果に応じて適切な対策方法を検討し、関係行政機関と協議の上、近隣の皆様にご安心いただけるような万全な対策を講じてまいりますので、ご理解とご協力を

お願い申し上げます。

調査結果の詳細および今後の対策等に関しては、下記のとおりであります。

記

1. 調査の結果（参考図面②）

(1) 地下水の状況について

敷地内の観測井戸（13本）で地下水を分析した結果、地下水環境基準を満たしております。（PCBは、検出されませんでした。）

(2) 油層の発見について

地下水採取の際、2本の井戸（R-6、R-11）で油層を発見いたしました。この油を分析した結果、PCBが含まれていることが確認されました。

2. 周辺への影響

(1) PCBは水に溶けにくく、また、地下水で確認されていないことから、周辺地下水への影響はないものと考えております。

ただし、観測井戸の地下水のモニタリング調査を継続し、敷地外への影響の有無を確認いたします。

(2) 油層が確認された2ヶ所の観測井戸のうち、R-6は敷地境界付近に位置しておりますが、油層は宙水層（たまり水）の上にあると推定されることから、現時点では敷地外への影響する可能性は少ないものと思われます。（今後、4.(2)のと通りの対策を実施いたします。）

3. 健康への影響

(1) 当該敷地の表面は、ほぼ全域がコンクリートで舗装されており、PCBを含む油の飛散等による健康への影響の恐れは、極めて低いものと思われます。

(2) 地下水の分析結果から、PCBは地下水には含まれておりませんので、地下水飲用等による健康への影響は低いものと思われます。

4. 今後の対策

(1) 緊急拡散防止対策として、敷地境界R-6井戸から、油の回収を直ちに行います（参考図面③）。（本年7月下旬予定）

(2) 行政機関と協議の上、R-6北側道路の油汚染状況および敷地内の廃棄物等の状況調査を直ちに実施いたします。（本年7月下旬開始予定）

(3) 上記調査の結果を受け、R-6付近の油汚染の拡散防止および敷地内からの汚染拡散防止のため遮水壁（鋼矢板）を設置する予定です。

(4) 恒久対策を検討し、実施してまいります。

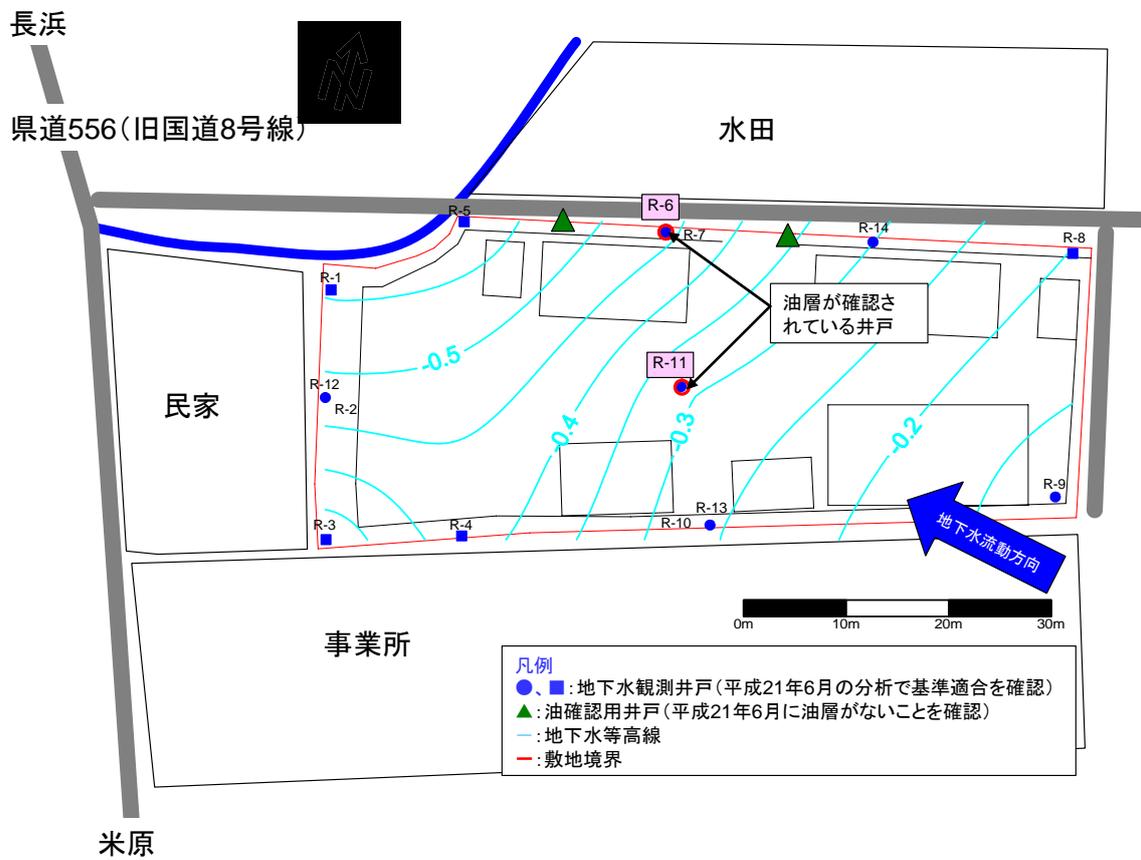
以上

(参考図面)

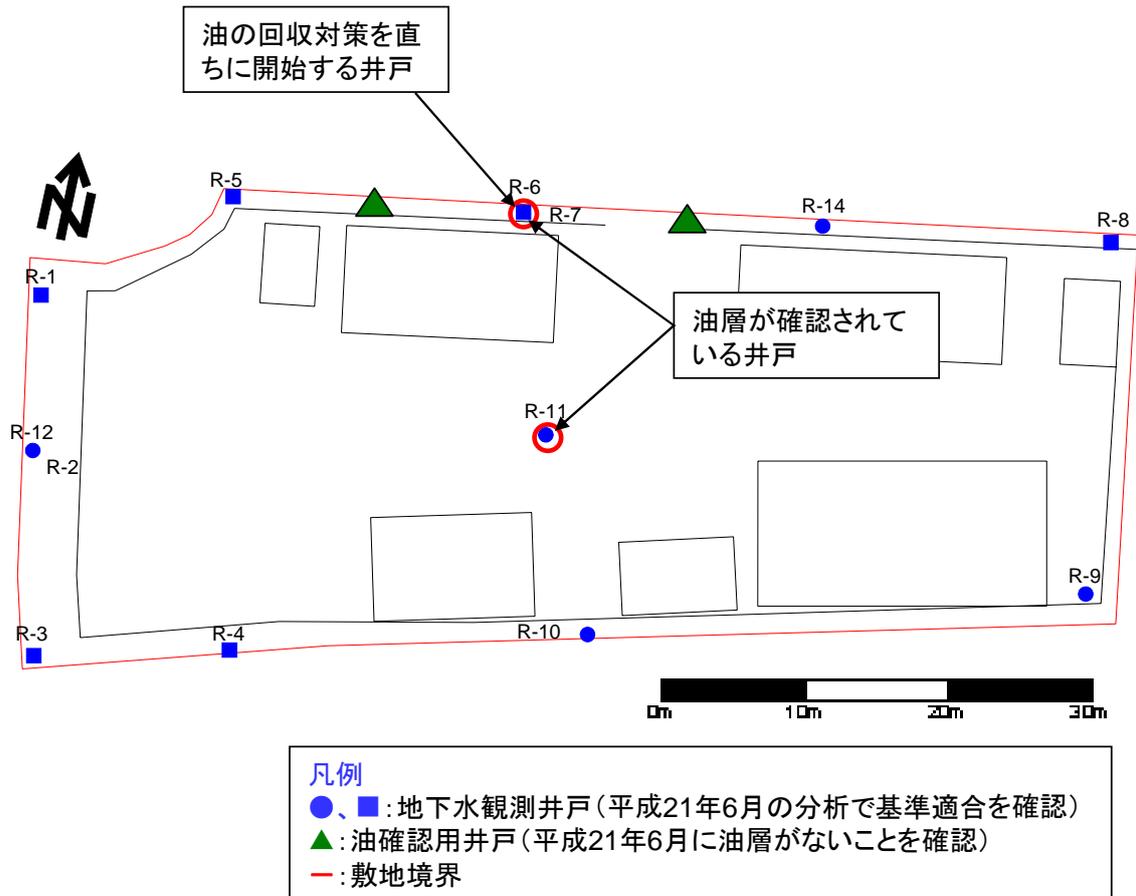
① 位置図



② 調査地点位置図および結果



③ 緊急拡散防止対策地点



(PCBについて)

PCB は、水に不溶、化学的に安定している、熱により分解しにくい、絶縁性が良い、沸点が高い、不燃性であるなどの性質を有し、コンデンサやトランス用の絶縁油や、熱交換器等の熱媒体、感圧複写紙等に用いられていました。

PCB の毒性については、急性毒性は低いものの、長期間又は大量に摂取した場合、以下のような慢性影響があると言われている。

皮膚・粘膜系：ニキビのような吹き出物、皮膚の黒ずみ、目や口腔粘膜異常

肝臓系：黄色肝萎縮、黄疸、浮腫、腹痛

神経系：倦怠感、手足のしびれ、末梢神経系の異常

呼吸器系：気管支炎、免疫力の低下

内分泌系：ホルモンの機能異常

(以上、環境省「PCB廃棄物収集・運搬ガイドライン」、
平成16年3月 (平成18年3月改訂) を参考に作成)

<本件に関するお問合せ先>

<報道関係者>

三菱樹脂株式会社 総務部 広報室 電話：03-3279-3800

<長浜地元関係者>

三菱樹脂株式会社 長浜工場 総務課 電話：0749-65-5111